事業所名			愛の家さくら館					3	支援プ[コグラム	作成曰	2024 年	11 月	1日		
		法人(事業所)理念	『慈愛の心 尊厳を守る お客様第一主義』													
		支援方針	~一人ひとりの個性を大切に~ お子様一人ひとりの見えている世界を大切に、好きなことがもっと大好きになり、苦手なことにも勇気をもって挑戦できるよう、日替わりで多彩な活動を取り入れています。事業所は有料老人ホームと隣接 しており、世代を超えた交流も大切にしています。支援者のサポートのもと、毎日の遊びや活動を通じて様々な年齢の友達とふれあい、経験を積むことで、社会性を育み将来へと繋がるよう支援を行いま す。													
		営業時間	平日	<mark>8</mark> 時	30	分から	19 時	(分まで	送迎実施の有無	あり・ なし					
		名未 时 间	土·祝日 休校日	8 時	30	分から	1 <mark>7</mark> 時	30	分まで	と 近天池の行無	80 A					
			支 援 内 容													
3		健康・生活	・さまざまな活動の中で友達と触れ合い、楽しんで体を動かすことで健康な心と体を育てます。 ・自分の身の回りを清潔にし、衣服の着脱や食事、排泄など生活で必要なことができるように支援します。 ・こどもが持つ機能等の状態に応じた個別訓練を実施していきます。 お片付けゲーム、着せ替えゲーム、コイン集め、昼食調理体験、おやつ作りなど													
		運動・感覚	・こどもの感覚を十分に活用できるよう、さまざまな遊びを通して支援します ・こどもの状態や発達の段階に応じて感覚の偏りに対する環境調整の支援を行います。 工作、人間オセロ、ミニカー積み対決、キャタピラタイムチャレンジ、風船送りゲームなど													
	援	認知・行動	・発達に応じた課題を行い、属性や大きさ、色や数など概念の形成を図ります。 ・コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防や適切な行動への支援を行います。 ・活動の中で視覚・聴覚・触覚など感覚を十分に活用して認知機能の発達を促す支援を行います。 文字並びゲーム、借り物競争、音当てゲーム、神経衰弱、感覚遊びなど													
		言語 コミュニケーション	・場面に応じた言葉のつかい方ができるよう支援します。 ・指差しやジェスチャーなど、言語以外でのコミュニケーション手段を選択・活用できるよう支援します。 あいさつクイズ、探偵ゲーム、ジェスチャーゲーム、絵しりとりなど													
		人間関係 社会性	・様々な経験を積んでいくことにより他者の気持ちや意図を読み取って適切な行動ができるよう支援します。 ・友達の中で共に活動することを通じて集団行動に繋がるよう支援します。 ロールプレイ、風船ラリー、ミッケ!、協力運動ゲームなど													
		家族支援	・安心して通所していただけるよう常にこどもの様子す。 ・保護者の就労を助ける為、送迎や延長支援を実施し ・悩みや相談などLINEや電話で受け付け、必要に応じ				,ます。	_	ただきま	移行支援	・休業日には地域の公園、商業施設を利用し、こどもが地域 持てるよう支援します。 ・ライフステージの移行時には必要に応じて移行先事業所へ す。					
		地域支援・地域連携	・こどもの様子を情報共有できるよう必要に応じて担きす。 ・関係機関や関係者との連携をすることで成長をサポー 支援ができるようにしていきます。							職員の質の向上	・職員の知識と技術の向」 ・月1回のスキルアップ研 種委員会の設置、定期的な す。	修の他、法人で虐待	寺防止·身体拘束廃	証が衛生管理の各		
		主な行事等	初詣 進級お祝	い 夏祭り ハロワ	ウィンパ ー	ティー	新年祭 卒業は	ら祝い								